

平成 22 年 6 月 24 日

報道関係各位

銚子信用金庫

平成 21 年度決算概要の公表について

銚子信用金庫(銚子市双葉町 5 番地の 5 理事長 岩瀬喜克)の平成 21 年度決算(平成 21 年 4 月~平成 22 年 3 月)の概要を公表いたします。

1. 平成 21 年度決算の概要について

預金積金は、夏季および冬季に定期預金キャンペーンを実施するなど、積極的な募集活動を展開した結果、前年度比 2,574 百万円 (0.62%) 増加し、413,424 百万円となりました。

貸出金については、事業者の資金繰り円滑化を目的として制度化された「緊急保証制度」・「セーフティネット保証」をはじめとする保証協会保証付融資の拡大に努めるとともに、経営改善計画の策定支援など地域事業所の資金繰り円滑化支援を積極的に展開いたしました。

ただし、平成 20 年秋に発生した金融危機以降、景況感は一段と悪化し、とりわけ当金庫が営業地域とする地方経済については疲弊の色が濃く、総じて設備投資をはじめとする資金需要は鈍く、貸出金残高は前期比 11,735 百万円 (6.25%)減少し、176,023 百万円となりました。

収支面では、貸出金残高の減少にともなう貸出金利息の減少などにより、業務純益は前期 比 231 百万円 (7.09%) の減少となり、3,028 百万円となりました。

なお、有価証券運用について、当金庫は安定収益の確保を目的とした堅実なポートフォリオを形成してきたことから、有価証券利息配当金は前期比 164 百万円増加の 2,122 百万円となっております。

一方、経常利益は、753 百万円で、当期純利益は、不良債権回収による償却債権取立益など特別利益の増加により前期比80百万円(5.08%)増加の1,653百万円と、5期連続の増益となりました。

この結果、経営体力を示す自己資本比率は前期比 1.28 ポイント増加し、11.03 パーセントとなりました。

2. 平成 21 年度決算主要計数

(1) 預金・貸出金の状況

単位:百万円

	平成21年3月末	平成22年3月末	増減
預 金	410,850	413,424	2,574
貸出金	187,758	176,023	$\triangle 11,735$

(2) 損益の状況

単位:百万円

	平成21年3月末	平成22年3月末	増減
業務純益	3,260	3,028	$\triangle 231$
経常利益	119	753	634
当期純利益	1,573	1,653	80

(3) 自己資本比率

自己資本比率	平成21年3月末	平成22年3月末	増減
	9.75%	11.03%	1.28%

(4) 不良債権(金融再生法上の開示債権)の状況

単位:百万円

	平成 21 年 3 月末	平成22年3月末	増減		
不良債権残高	23,685	18,997	$\triangle 4,688$		
不良債権比率	12.46%	10.67%	$\triangle 1.79\%$		

以 上

本プレスリリースおよび資料についてのお問い合わせは下記の担当までお願いいたします。

銚子信用金庫 総合企画部(担当:松岡)

〒288-8686 千葉県銚子市双葉町5番地の5

 $tel: 0479 \hbox{-} 25 \hbox{-} 2115 \quad fax: 0479 \hbox{-} 22 \hbox{-} 9909 \quad e‐ mail: e_kikaku@choshi‐ shinkin.co.jp}$



http://www.choshi-shinkin.co.jp